

第五十七回

熊本城（熊本県熊本市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

熊本市賞

柿食へば少年となる里の山

熊本県熊本市 麦田 雅弘

特選二句

大銀杏見下ろす黒き天守閣

熊本県熊本市 中村 弘之

こよなくも愛され育つ肥後の菊

熊本県熊本市 角田 舞句

投句総数 二十四句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「柿」主宰 横田 青天子 選

奈良・斑鳩町賞

停戦の願ひ届かぬ聖夜かな

奈良県生駒郡斑鳩町 荒川 清子

特選三句

しづけさが寒さとなりぬ奥社

奈良県天理市 松田 吉上

冬景色寺の風情を包みたり

埼玉県さいたま市 長友 怜太

秋深し奈良を彩る古都の風

和歌山県和歌山市 戸津井 孝彦

投句総数 三十九句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

子規はいく賞三句

小春日や漱石邸に猫の声

愛知県丹羽郡抹桑町 松原 継彦

石段の窪みに木の実明治村

愛知県岩倉市 久木 美佐江

返り花坂を廻れば漱石邸

愛知県名古屋市 佐々木 和子

特選三句

冬晴や市電ゆるりと角まがる

三重県伊勢市

森下

充子

漱石の誤字なき稿や日脚伸ぶ

愛知県名古屋市

加島

照子

紅葉に囲まれ登る偉人坂

愛知県名古屋市

加島

孝允

投句総数

六十七句

開函日

令和七年一月三十一日

第五十七回

子規庵（東京都台東区）

「柿」主宰

横田 青天子 選

特選一句

こころ決め終の住処や寒椿

福岡県福岡市 北村 基代

投句総数 十三句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

興国の乙旗なびき春の風

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

寒晴れの空眺めたる三笠かな

静岡県静岡市 市川 亮三

横須賀の波の高さよ秋ふかし

東京都台東区 伊藤 隆賢

投句総数 四十二句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選二句

平和へと祈りささげて冬うらら

兵庫県神戸市 中川 寛子

寒晴や偉人の墓は坂の上

埼玉県日高市 市川 英一

投句総数 六十一句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

訪ね来て漱石山房冬ぬくし

岐阜県各務原市 村松 陽子

桜しべ降る漱石の猫の墓

埼玉県戸田市 佐藤 厚子

雪女水子の寺に消えゆけり

東京都新宿区 石黒 大作

投句総数 六十五句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

初雪や山の端白く描き出す

福島県会津若松市 橋本 由佳里

鶴ヶ城白く彩る雪景色

東京都杉並区 遠藤 みずき

車椅子押す手冷たし鶴ヶ城

新潟県新潟市 荒木 あき子

投句総数 二十四句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

東松山市（埼玉県東松山市）

「柿」主宰 横田 青天子 選

特選三句

出産の妻のベットへ冬日差し

埼玉県川越市 吉野 敬子

白鳥を染むる夕日を惜しみけり

埼玉県東松山市 小熊 なが子

初釜の静寂切り裂く湯のたぎり

埼玉県東松山市 大井 津由子

投句総数 六十六句

開函日 令和七年一月三十一日

第五十七回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「柿」主宰 横田 青天子 選

俳句のまちあらかわ賞

いくつもの名前背負ひて福寿草

東京都荒川区 町田 美幸

特選二句

電飾の温もりまとふ聖樹かな

愛知県犬山市 紅紫 あやめ

門前に団子屋本家冬ぬくし

東京都台東区 菅原 和子

投句総数 四十七句

開函日 令和七年一月三十一日